

上部消化管透視検査(バリウム検査)時の安全基準

当院では、日本消化器がん検診学会関東甲信越地方保健衛生部会の安全基準に基づき、2023年4月より上部消化管透視検査(バリウム検査)を行う際に、以下の安全基準を定めました。当院の安全基準を読んで頂き、ご理解いただいた上で事前確認書のご記入をしていただきますよう、よろしくお願いいたします。

バリウム製剤の禁忌

- 消化管穿孔または疑い
- 消化管閉塞または疑い
- 消化管急性出血
- 過敏症(アレルギーの既往)

1, 消化管疾患

- ・腸閉塞(腸捻転)の既往 不可
- ・炎症性腸疾患 治療中の場合は不可。
- ・上部消化管疾患 治療中の場合は不可。
- ・消化管手術の既往 不可。
- ・腹部手術の既往 1年以内に手術した方は不可。
- ・大腸憩室 不可。
- ・便秘 3日間排便がなければ不可。
- ・下痢 炎症性のある急性期や下血がある場合は不可。

2, 循環器疾患

- ・虚血性心疾患 1年以内に発作があった方は不可。それ以外は主治医の許可が必要。
- ・心不全 水分制限がある方は不可。
- ・心疾患術後 1年以内に手術をした方は不可。それ以外は主治医の許可が必要。
- ・ペースメーカー 不可。
- ・高血圧 170/100mmHg 以上は不可。

3, 呼吸器疾患

- ・喘息 発作時・頻繁に発作がある場合不可。
- ・呼吸器疾患 在宅酸素療法の方は不可。
- ・手術の既往 1年以内に手術した方は不可。

4, 脳血管障害など

- ・脳血管障害 1年以内に発作があった方は不可。
- ・頭部手術の既往 1年以内に手術をした方は不可。
- ・脳圧亢進でシャント中 不可。
- ・認知症など 理解困難がある場合は不可。

5, 運動障害など

- ・麻痺・疼痛など 体位変換が困難な場合は不可
- ・手術の既往 1年以内の手術をした方は不可。それ以外は要相談。
- ・椎体・靭帯など治療中、経過観察中 1年以内の手術をした方は不可。それ以外は要相談。
- ・体型・体形 体位変換が困難な場合は不可。体重 120kg以上不可。

6, 腎疾患

- ・透析中 不可。
- ・慢性腎疾患 水分制限がある方は不可。

7, 糖尿病

- ・インスリン 検査前に使用した方は不可。
- ・経口血糖降下剤 検査前に使用した方は不可。
- ・コントロール不良

8, その他

- ・妊娠またはその可能性 不可。
- ・誤嚥 既往がある方は不可。日頃むせやすい方は要相談。
- ・アレルギー(バリウム・発泡剤・下剤) 不可。
- ・メニエール病 不可。
- ・高度難聴 不可。
- ・食事 朝食を摂取された方は不可。残渣が多い場合中止。
- ・喫煙 検査当日喫煙された場合不可。
- ・運動障害 バリウムを自分で飲めない場合は不可。
立位を維持すること・手摺をつかむのが困難な方は不可。

※スムーズに動くことが困難な方は検査を中止させていただく場合がございます。